

4 月 21 日(日)に行われた新試験制度 9 回目の実施となる平成 25 年春期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者試験の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■基本情報技術者試験(FE)

〔平成 25 年春期の基本情報技術者試験 統計情報〕

応募者	66,667 人
受験者	46,416 人
合格者	10,674 人
合格率	23.0%

今回の合格率は 23.0%で、前回の 27.1%から約 4%減少しましたが、前年同期にあたる平成 24 年春期試験の 23.7%と比較すると若干の減少です。現在の試験制度になってからでは 2 番目に低い合格率になりました。

問題の難易度について、午前試験は前回とほぼ同じ～少し難しくなったと考えていましたが、発表された統計データから計算した平均点の推測値は 1 点強というわずかな値ですが、少し高くなっていました。一方、午後試験は必須問題のアルゴリズム問題がやや難しい問題でしたが、60 点以上取れた人の比率が前回よりも下がっており、午後試験の平均点の推測値も 2 点強ですが下がっています。結果的に午後試験の得点が例年よりも低く、合格率も下がったと考えられます。

今回の試験の傾向や特徴を少し細かい内容までまとめると、次のようになります。

〔午前問題〕

- ・テクノロジー 50 問、マネジメント 10 問、ストラテジ 20 問の出題比率は前回と同じでした。
- ・過去問題の比率は全体の 7 割近くあり、前回よりも増えています。また、新テーマの問題は若干ですが減りました。一部、少し難しい問題もありましたが、平均点の推測値が上がっている結果を見ると、予想していたよりも解きやすかったといえます。
- ・新傾向または新しい用語に関するテーマとして、次のような出題がありました。ネットワークとセキュリティ分野の問題で 3 問ありますが、全体に新しい IT 関連動向の用語が出題されているといえます。

問 6 逆ポーランド表記法の式におけるスタック処理

問 22 コード中実行できた割合の評価に使うもの

問 35 TCP コネクションの識別情報

問 36 UDP を使用しているもの

問 38 セキュリティ攻撃

問 48 ストレステストの目的

問 49 包括的な特許クロスライセンスの説明

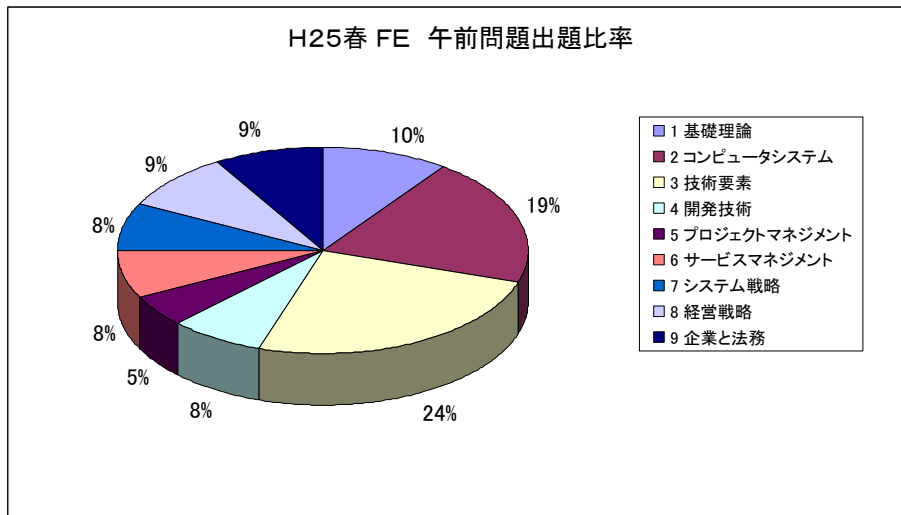
問 54 プル型コミュニケーション

問 66 グリーン調達の説明

問 73 ソーシャルメディアの説明

問 75 フィージビリティスタディの説明

平成 25 年春期の基本情報技術者試験



(テクノロジー分野:1~4, マネジメント分野:5~6, ストラテジ分野:7~9)

最近の傾向として、「3 技術要素」に含まれるセキュリティ分野の問題が他の分野に比べて多く、今回も 8 問出題されています。これは応用情報技術者試験など他の試験にも当てはまる傾向で、最重要分野として、基礎知識をしっかりと理解しておく必要があります。

〔午後問題〕

問 1~7 の知識の応用問題から 5 問選択、問 8 のアルゴリズムが必須、問 9~13 のプログラミングの問題から 1 問選択します。午後問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。

問	テーマ	出題分野	難易度
1	カラー画像	ハードウェア	やや易
2	仮想記憶方式	ソフトウェア	やや易
3	会員情報を管理する関係データベースの設計と運用	データベース	やや易
4	IC カードを利用した入退出管理システム	情報セキュリティ	やや易
5	社員の歩合給決定処理	ソフトウェア設計	普通
6	ソフトウェア開発の品質管理	プロジェクトマネジメント	やや易
7	市場分析と需要予測	経営戦略・企業と法務	やや易
8	食料品店の値引き処理	データ構造及びアルゴリズム	やや難
9	ケーブルテレビ局が提供するサービスの料金計算	ソフトウェア開発 (C)	普通
10	従業員へ支給する特別給の算出	ソフトウェア開発 (COBOL)	やや易
11	あみだくじ	ソフトウェア開発 (Java)	やや易
12	ビット列の置換え	ソフトウェア開発 (アセンブラ)	普通
13	製品の生産計画	ソフトウェア開発 (表計算)	やや難

今回はネットワークからの出題がなく、情報セキュリティからの出題が加わり、問 1~問 4 でハードウェア、ソフトウェア、データベース、情報セキュリティのテーマで出題されました。問 6 のマネジメント分野の問題では、前回は IT サービスマネジメントの出題でしたので、予想どおりプロジェクトマネジメントの出題でした。

午後問題では、難易度の低い問題と高い問題が混在していました。今回は必須問題の問 8 のアルゴリズム問題と、プログラム言語の選択問題の問 13 表計算の問題がやや難しい内容でした。全体的には、問題文を読み込んで解く、読解力が必要な問題が多かったといえます。

問 1～問 7 知識の応用問題

問 1 のカラー画像は光の 3 原色（赤，緑，青）を用いた画像の表示の問題です。問 2 の仮想記憶方式は解答に時間が少しかかりますが、午前問題を複数組み合わせたとような内容です。問 3 の関係データベースの問題はほとんど SQL 関連の設問で、基本事項を理解していれば解答できる内容です。問 4 の IC カードを利用した入退室管理システムの問題は、広く普及している IC カードをテーマとした常識的な問題で、以上の問 1 から問 4 までは、全体的には易しい問題といえます。

問 5 の社員の歩合給決定処理はファイルの更新処理の問題で、これまで何度も出題されてきた普通レベルの問題です。問 6 は品質管理に関するプロジェクトマネジメントの問題で、計算して解答を出す必要があるため少し時間がかかりますが、内容自体は特に難しくはありません。問 7 は市場分析と需要予測の問題で、示されたグラフの特徴を調べるのに計算が必要な時間のかかる設問もありますが内容自体はやや易しい問題といえます。

問 8 データ構造とアルゴリズムの問題

扱うデータが、配列の添字を使ったポインタを含む構造体になっており、C 言語選択者にやや有利な内容だったと思われます。また、処理内容の変更に伴いプログラムがかなり複雑になるため、解答に時間がかかります。全体的にやや難しい問題といえます。

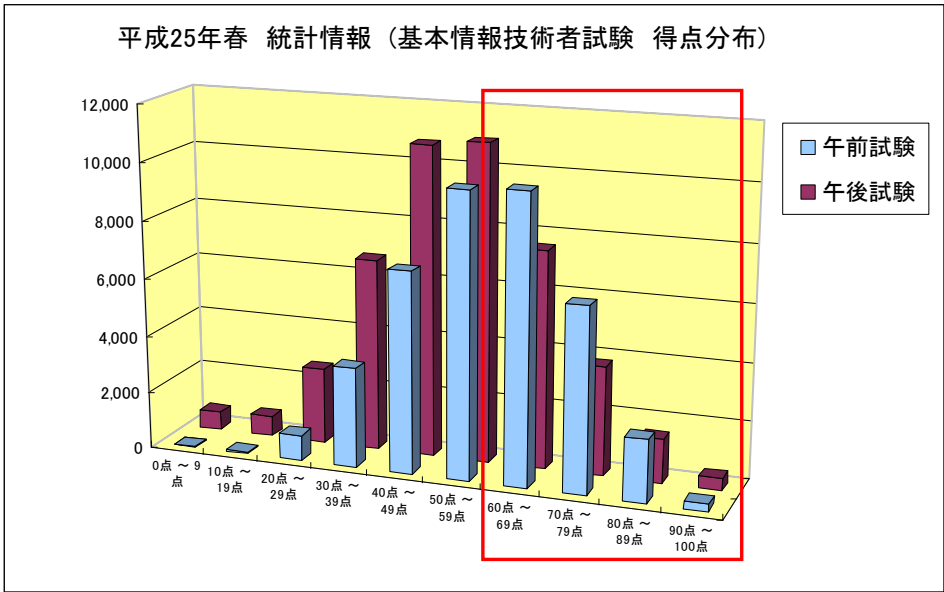
問 9～問 13 プログラム言語の問題

プログラム言語の問題は、最近やや易しいレベルで出題されることが多かった問 9 の C 言語の問題と問 12 のアセンブラの問題が普通レベルだったことと、問 13 の表計算ソフトの問題が前回試験と同様に少し複雑だったことから、全体には普通からやや難という内容だったといえます。

試験センターから発表された基本情報技術者試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。なお、午後試験の受験者数が午前試験よりも 5,700 人ほど多いことから、教育機関で所定の学習を修了して午前試験免除で受験した方がこの人数いたと考えられます。

〔平成 25 年春期 統計情報(基本情報 得点分布)〕

スコア	午前試験	午後試験
0 点 ～ 9 点	8	641
10 点 ～ 19 点	52	705
20 点 ～ 29 点	881	2,635
30 点 ～ 39 点	3,469	6,684
40 点 ～ 49 点	6,967	10,756
50 点 ～ 59 点	9,807	10,961
60 点 ～ 69 点	9,929	7,533
70 点 ～ 79 点	6,381	3,786
80 点 ～ 89 点	2,169	1,518
90 点 ～ 100 点	256	401
計	39,919	45,620
		5,701
合格者数	10,674	合格者数との差
午前 60 点以上合計	18,735	8,061
午後 60 点以上合計	13,238	2,564



今回の結果を少し詳しく分析すると、午前試験で合格基準点の60点以上の方が18,735人で受験者の46.9%（前回は42.2%）で前回よりも増えています。また、午後試験が基準の60点以上だった人は13,238人（午後試験受験者の29.0%）で前回よりの36.1%よりも7%も下がっています。

発表された得点分布から概算で平均点を計算すると午前が57.9点（前回56.2点）で前回よりも1.7点上がり、午後は50.8点（前回53.2点）でこちらは2.4点ほど下がっており、前回に比べて午後試験が少し難しかったといえます。

ここで、午前試験であと10点足りなかった人（得点50～59点）が9,807人（全体の24.6%）おり、午後試験であと10点足りなかった人も10,961人（全体の24.0%）いました。このことから、午前試験では仕上げの学習を確実にに行いしっかり知識を定着させる必要があります。午後試験では、まずは午前で出題される知識を深めること、次に問題演習する際には15分～30分という標準解答時間中は、仮に分からないところがあっても考え続ける力を養うこと、そして、模擬試験を受験してアルゴリズムやプログラム言語問題を解くときに、解答時間の調整に慣れるなど、実戦的な力を身に付けることが重要です。

（今回合格された人）

今回見事合格された方は、ステップアップしたITスキル標準レベル3の応用情報技術者試験にチャレンジしましょう。試験難易度が一段上がります。また、13秋期試験より、応用情報技術者試験において、午後試験の出題数が「12問中6問解答」から「11問中6問解答」に変更となり、「出題範囲」及び「シラバス」における一部分野の構成・表記の見直しも行なわれるとのIPAより発表もありました。その他一部試験種別についても変更の発表がございましたので、詳しくはIPAのホームページ (<http://www.jitec.ipa.go.jp/>)にてご確認ください。

基本情報技術者試験の内容がベースになりますので、苦手分野や今回解けなかった問題などを中心に、まず「コンピュータシステムの基礎」のテキストでチェックし、今まで読み飛ばしていたところや苦手意識のある内容も含めて、再度学習することが大切です。

応用情報技術者試験を初めて受験する方には、基礎から段階的に知識の積み上げができる通信教育がおすすめです。書籍、eラーニング（WEB教材・WEBテスト）、公開模試の初学者でも合格のために必要な全てをセットにしたブレンド学習コース「WEB標準学習コース」なら、試験範囲全体を短期間で万遍なく学習することが可能です。

その他、学習にあたっては、通信教育や書籍以外にも、午前試験対策に重点をおいた「宿題メール」。受験対策のプロ講師が応用情報技術者の試験対策セミナーを行う「合格ゼミ」など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。通信教育に午前試験対策の「宿題メール」を追加するなど組合せは自由自在なので、自身の弱点分野を克服しつつ次のステップアップを目指しましょう。

（今回残念ながら不合格だった人）

今回の午前および午後試験の得点が50点～59点だった人は、合格ラインまで“あと一步”のところまで実力がついていきますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。50点未満だった人は、基礎的な知識の理解が不十分ですので、「コンピュータシステムの基礎」などの基礎テキストで基礎知識をしっかりと学習し直す必要があります。試験制度変更後は従来のプログラム言語に加えて表計算ソフトの問題も出題されています。プログラム言語が苦手な方は表計算ソフトで受験することも検討してみてください。この表計算ソフトについては、「表計算ソフトの機能と用語」が改訂され（2011/7/11）、前回からマクロに関する問題も出題されており、処理の考え方（アルゴリズム）の要素も加わっています。

再受験される方には、午前試験対策はポイント確認とトレーニング問題、午後試験対策は重要ポイントを音声・スライドで解説などの充実した弱点補強に最適な演習型eラーニングコース「WEB演習コース」や、本番と同じ条件（出題形式・出題数・試験時間）で実施される模擬試験を受験し、ベテラン講師による採点評価で自身の弱点を把握することができる「全国統一公開模試」などがおすすめです。午前試験対策の「宿題メール」、午後試験対策の「合格ゼミ」などを組み合わせれば、さらに合格へと近づくことができるでしょう。不足している知識や分野ごとに組み合わせることで補強して次回合格を勝ち取りましょう。

2013年秋期試験対策の新しい書籍については弊社のホームページからご覧ください。

<http://www.itec.co.jp>

■現在刊行済みの2013年用 試験対策書籍

- ・午前試験対策おすすめ書籍



- ・午後試験対策おすすめ書籍



■今後の刊行予定書籍

- ・「2013 秋 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題」 **7/月上旬 発売予定**
直近の本試験の内容を理解して、出題傾向を把握するのに最適!!
- ・「基本情報技術者 分野別予想問題集」 **7/月上旬 発売予定**
「予想問題集」が装いを新たに新登場!!
問題を分野別(分類別)に収録し、苦手分野を効率的に学習できる!!

itec